

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会
第1回 代表者会議 資料
「学童保育の現状と連絡会の成り立ち」

1. 学童保育の変遷
2. 春日部市の現状
3. 父母会の意味と役割
4. 連絡会は何のために？

1. 学童保育の変遷

制度の変遷と春日部の状況

共同保育

親が場所を探し、指導員を探し、経営する



公設民営

市町村が場所を提供、
父母が運営する(補助金など)



公設公営

市町村が場所を提供、
公的機関が運営

1967年 大畑に「共同保育の会」
(春日部初の学童保育)
その後他の地区にも広がる

自主運営
場所の確保

1973年 埼玉県単独補助開始
春日部市学童保育連絡協議会 発足

1973年 春日部市単独補助開始

補助金交渉

1996年 春日部市学童保育の会 発足

1998年 児童福祉法改正(初の法制化)
市内全小学校に公設公営学童設置

高学年の入室、指導員の継続雇用交渉

2008年 春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会
発足

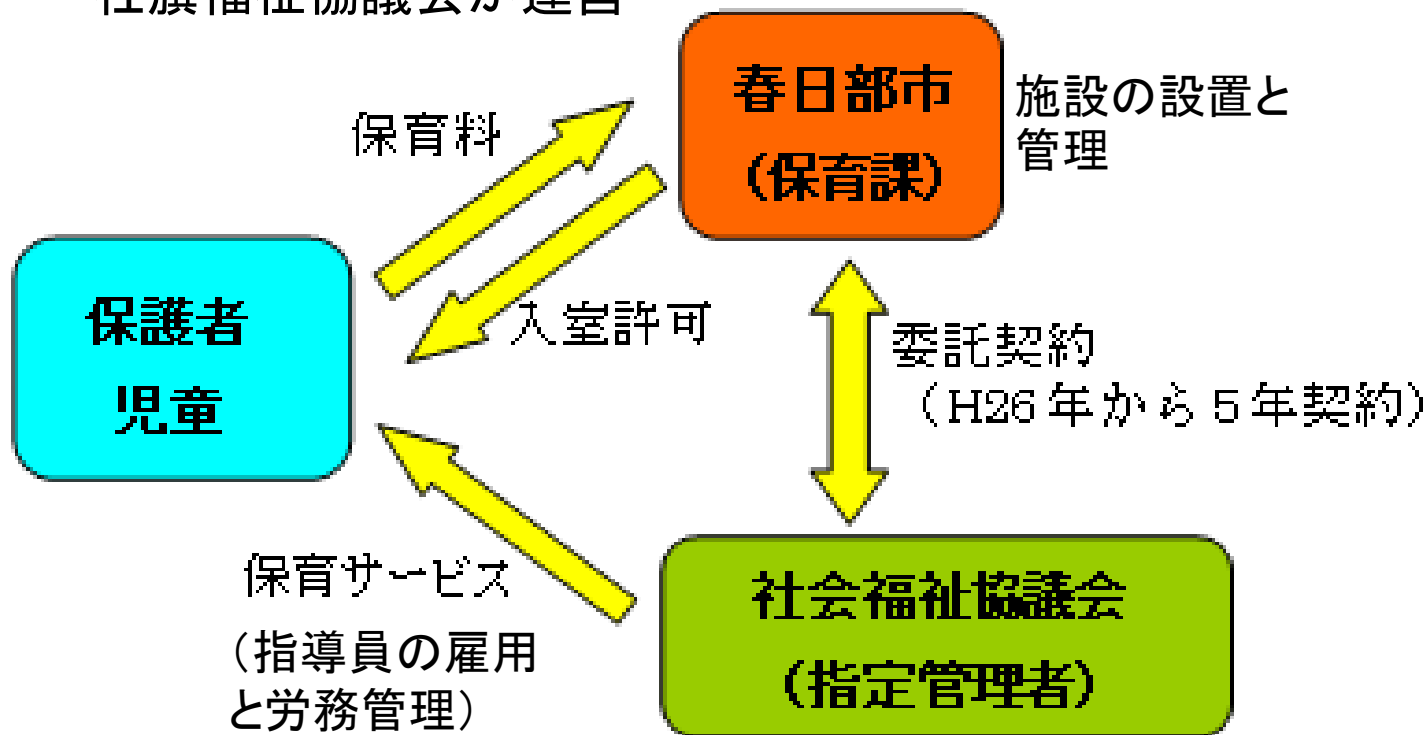
増設、指導員の待遇改善など

2015年 児童福祉法改正(新システム)
対象学年が6年生までに!

2. 春日部市の現状

指定管理者制度により、

- ・市が施設を設置・管理
- ・社旗福祉協議会が運営

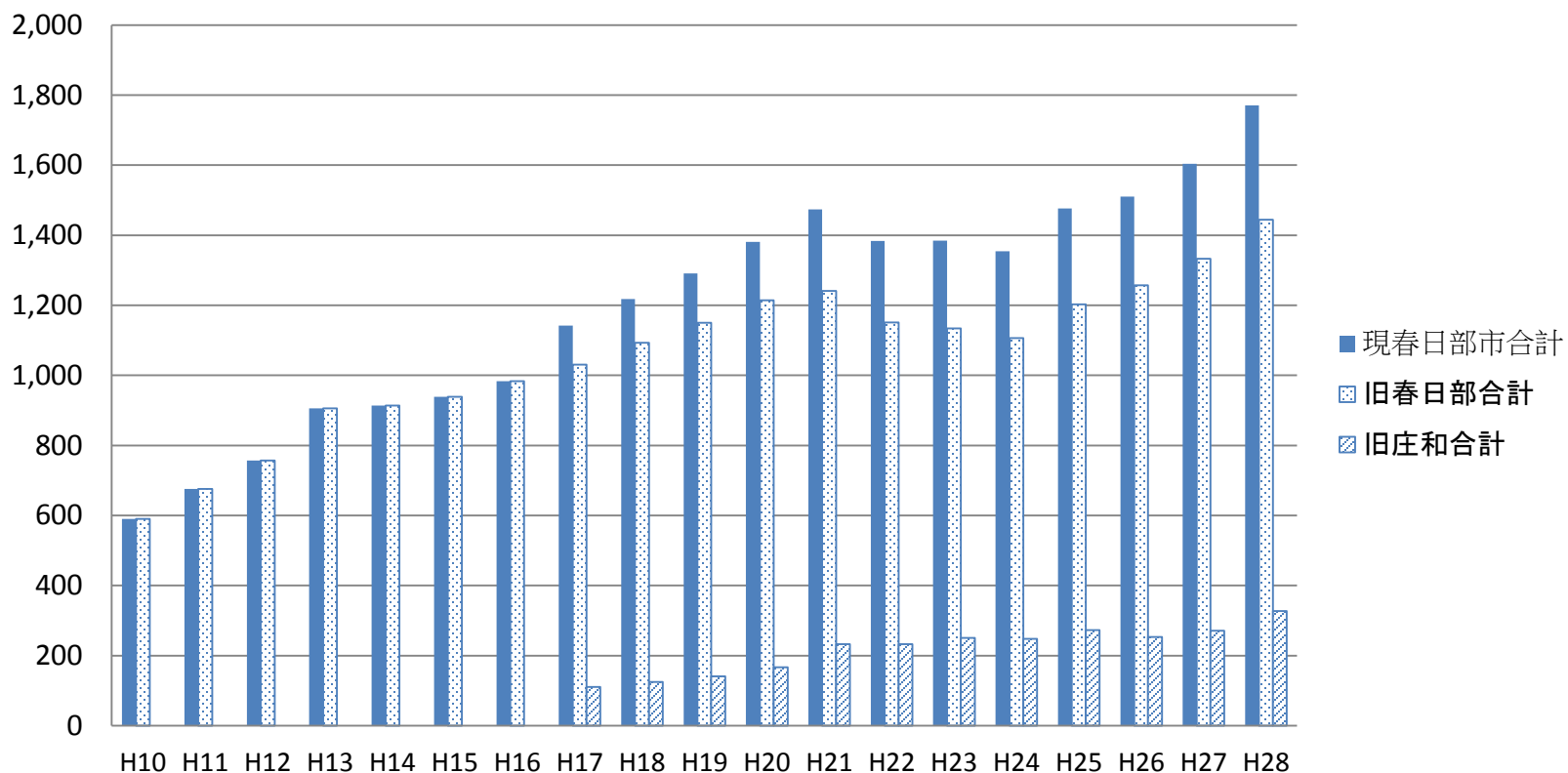


2. 春日部市の現状

H28.4.1

旧春日部 1444、旧庄和 327、計 1771

放課後児童クラブ児童数推移 (各年度4月1日時点)

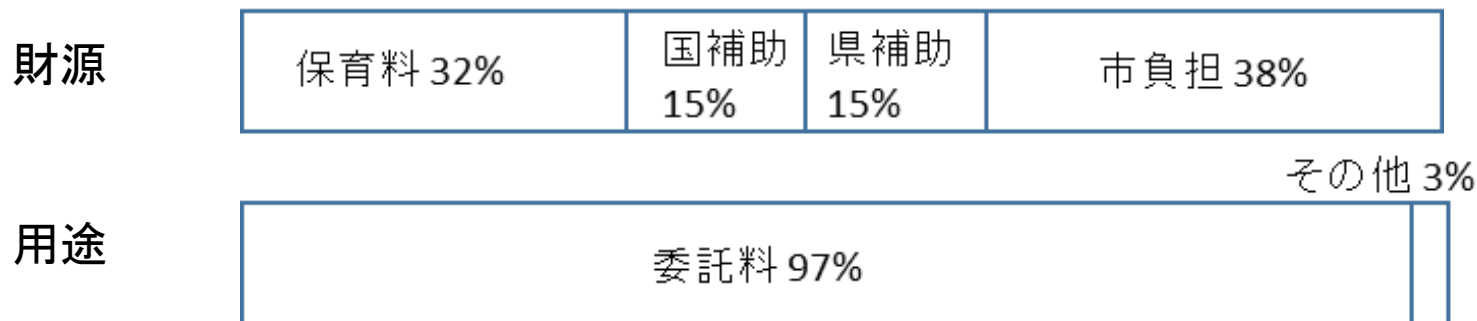


公設化以降18年で、児童数約3倍に！

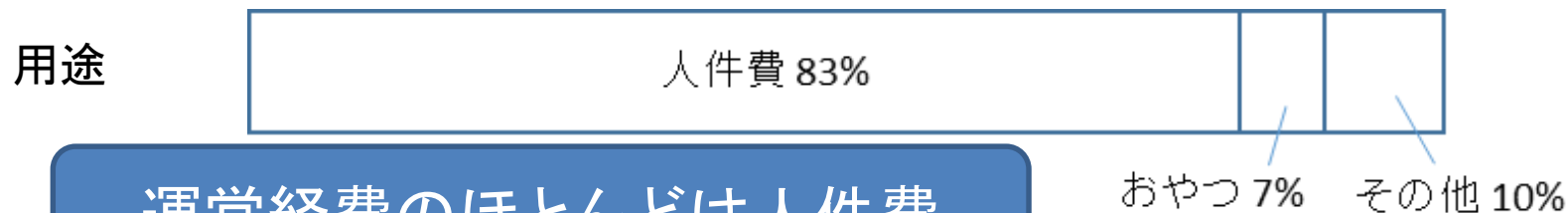
2. 春日部市の現状

※施設の建設、改修などの費用は含まれていません。

H28年度 放課後児童健全育成時事業（市予算額） 389,885千円



H28年度 放課後児童クラブ管理運営事業（社協予算額） 407,861千円



運営経費のほとんどは人件費

2. 春日部市の現状

指導員配置状況比較

H25年 4月1日

	指導員数	児童数	指導員1人 当り児童数
1 粕壁1	3	43	14.3
2 粕壁2	2	52	26.0
3 内牧	3	60	20.0
4 豊春1	2	56	28.0
5 豊春2	2	33	16.5
6 武里	2	56	28.0
7 幸松1	2	41	20.5
8 幸末2	2	36	18.0
9 豊野	3	54	18.0
10 備後	2	40	20.0
11 八木崎1	3	63	21.0
12 八木崎2	2	29	14.5
13 牛島	3	61	20.3
14 緑	3	65	21.7
15 上沖1	2	48	24.0
16 上沖2	2	49	24.5
17 正善	3	74	24.7
18 立野1	2	51	25.5
19 立野2	2	39	19.5
20 宮川	2	46	23.0
21 藤塚	2	44	22.0
22 小淵	3	53	17.7
23 武里南	3	68	22.7
24 武里西1	2	36	18.0
25 武里西2	2	60	30.0
26 南桜井	2	53	26.5
27 川辺1	2	38	19.0
28 川辺2	2	42	21.0
29 桜川1	2	34	17.0
30 桜川2	2	38	19.0
31 中野	2	48	24.0
合計	71	1510	21.3

指導員1人に対し
児童25人を超える
クラブ

H28年 4月1日

	指導員数	児童数	指導員1人 当り児童数
1 粕壁1	2	47	23.5
2 粕壁2	2	60	30.0
3 内牧1	2	44	22.0
4 内牧2	1	29	29.0
5 豊春1	2	60	30.0
6 豊春2	2	38	19.0
7 武里	3	65	21.7
8 幸松1	2	47	23.5
9 幸松2	1	42	42.0
10 豊野	3	68	22.7
11 備後	3	44	14.7
12 八木崎1	1	45	45.0
13 八木崎2	1	23	23.0
14 八木崎3	2	35	17.5
15 牛島	3	77	25.7
16 緑	2	70	35.0
17 上沖1	2	70	35.0
18 上沖2	3	73	24.3
19 正善	3	71	23.7
20 立野1	2	39	19.5
21 立野2	1	25	25.0
22 立野3	2	26	13.0
23 宮川	2	49	24.5
24 藤塚	2	60	30.0
25 小淵	2	59	29.5
26 武里南1	2	44	22.0
27 武里南2	1	41	41.0
28 武里西1	2	38	19.0
29 武里西2	2	55	27.5
30 南桜井1	2	34	17.0
31 南桜井2	1	29	29.0
32 川辺1	2	38	19.0
33 川辺2	1	44	44.0
34 川辺3	1	22	22.0
35 桜川1	2	55	27.5
36 桜川2	1	55	55.0
37 中野	2	50	25.0
合計	70	1771	25.3

3年前と比べて…

指導員1人当り児童
数が増加

指導員1人体制の
クラブも出現

3. 父母会の役割

(民営の場合)

作り、運営する

学童保育が足りない地域では、まず「作る」運動が必要です。多くの場合、必要とする父母が中心となって活動する事になります。

改善する

保育環境の改善や指導員の労働条件など、学童保育の改善には父母の強い働きかけが必要です。

子ども達の生活を形成する

父母と指導員が話し合うことにより、子ども達の放課後の生活を豊かにすることができます。定例会での話し合いや、日々の伝え合い、交流が大切です。

交流し、支え合う

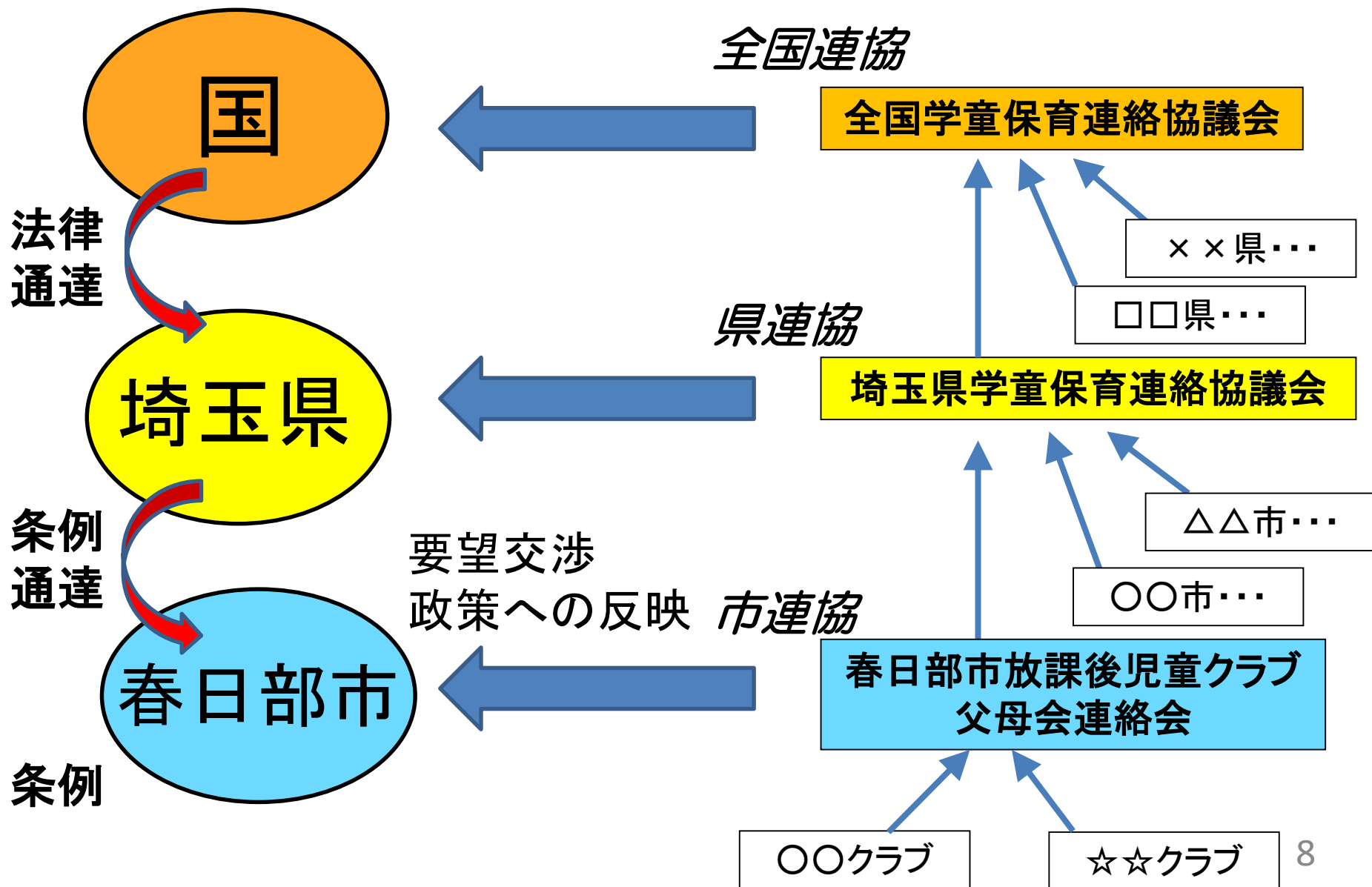
働きながらの子育ては様々な困難があります。働く親同士が交流し、子育てを中心として話し合うことで、お互いの精神的な支えになることができます。

学童保育全体をより良くする

個々の学童保育の問題は、地域の学童保育に共通する事が多く有ります。行政に働きかけて、地域全体のレベルを上げる取り組みが必要です。

3. 父母会の役割

父母の組織と自治体の関係



全国学童保育研究集会(全国研)

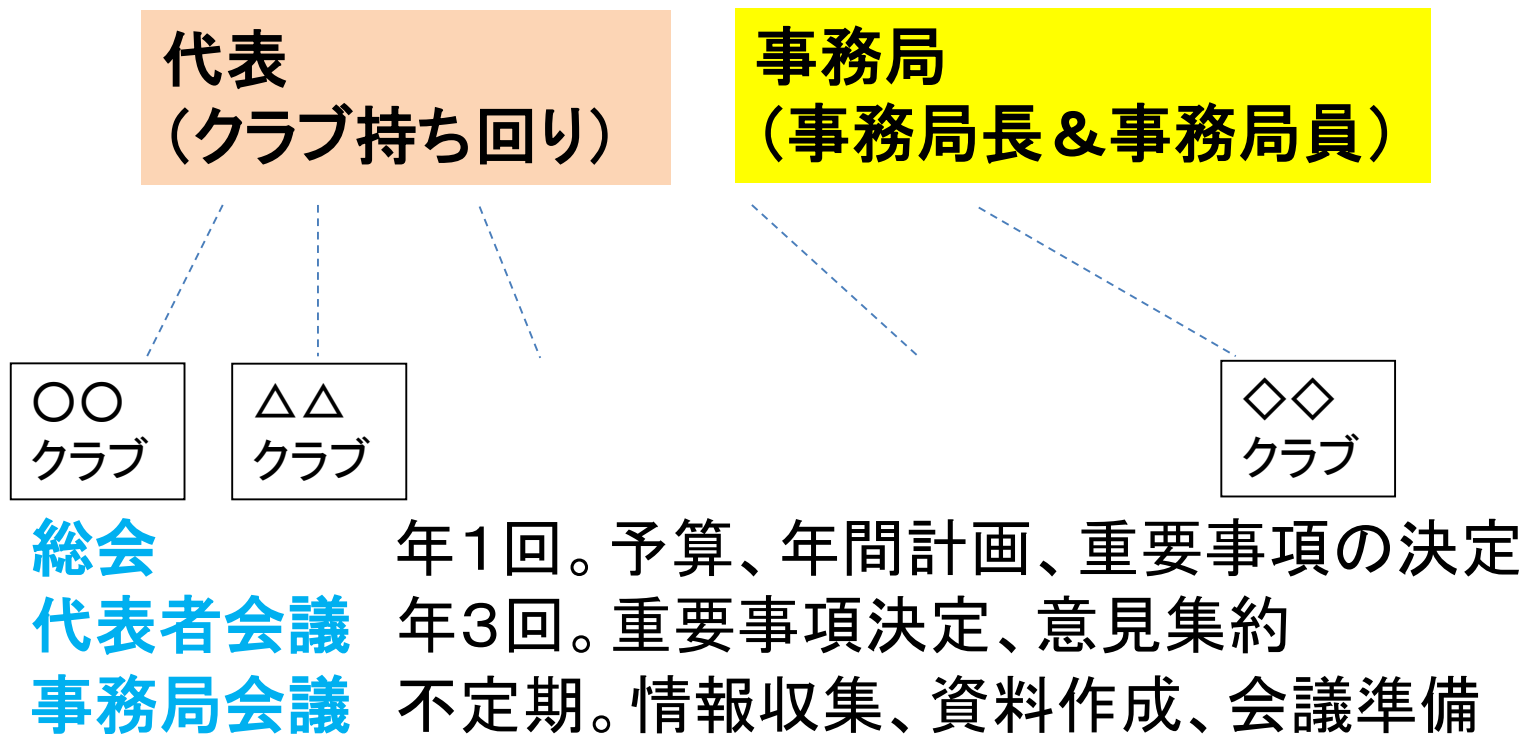
(主催:全国学童保育連絡協議会)



2012年10月5日～6日 埼玉県にて開催 全国から5802名が参加

4. 連絡会は何のために？

組織と会議



- ・学童保育について、他クラブや他地域の情報が得られる
- ・学童保育で起きている問題や悩みなどについて相談できる
- ・誰もが自由に参加でき、自由に意見が言える

4. 連絡会は何のために？

今我が子たちが生活している放課後児童クラブは、過去に多くの父母たちが力を合わせて行政に訴えてきた結果として存在しています。

私たちの子どもたちのために、そして未来の春日部の子どもたちのために、親として今できることは何か、みんなで考えてみませんか？